



全力でたすきをつないだ駅伝大会

10月5日（木）は秋晴れの晴天の下、長崎市中総体駅伝競走大会が行われ、午前中は女子が5区間を51分48秒で走り、午後からは男子が6区間を1時間8分19秒で走り、それぞれが最後までたすきをつなぎ、見事完走しました。特に男子は昨年の記録を大きく上回り、第2位の躍進賞をいただきました。

どの区間も選手たちは苦しい表情を浮かべながらも、しっかり腕を振って力強く走り、その姿に感動しました。また、沿道では選手が走ってくると学校に関係なく、応援の中学生や保護者の「頑張れ」「あと少しだ」などの激励のことばや拍手が飛び交っていました。それを聞きながら走っている選手も、手を振って応えたりうなずいたり、駅伝ならではの光景が繰り広げられました。

本番までの約2か月半、今年は特に酷暑の中選手たちは厳しい練習に取り組み、自分の限界と向き合い、選手同士お互いに励ましあいながらチームとして成長しました。そして、その力を十分に発揮し、素晴らしい走りを見せました。この経験が今後に活かされ、さらなる成長につながるものと期待しています。



明日 3年生最後の実力テスト

明日は、3年生にとって受験を前にした最後の実力テストが行われます。夏休み中の面談の折に、現段階での進路希望や学習への取組等については担任に相談されたと思います。また、これまでのテスト結果はもちろんですが、今回のテストにおける子どもたちの伸びが、来春の入試に向けての判断材料として大きく影響することもお伝えしていると思います。明日の実力テストでは、夏休みの努力やこれまでの学習成果が十分に発揮されることを願っています。

なお、今後3年生は進路説明会や三者面談が予定されていますので、よろしく願いいたします。